



桜台小 学校だより
令和4年 3月 8日
第56号



月日の経つのは早いもので、6年生が桜台小学校に登校するのにも残すところ8日間となりました。本校は、保護者の皆様や子どもたちの感染症対策の効果もあり、現在欠席者が1桁の状況が継続しています。6年生を送る会が無事終了し、感染症陽性判定の児童が拡大していないことにほっとしていたところ、3月3日（木）に四日市市教育委員会から次のような指示が市内の小中学校に降りてきました（一部抜粋）。

市内小中学校において、新型コロナウイルス感染症の勢いが止まりません。3月に入っても市全体で100名を超える陽性者が確認されている中、児童生徒についても、3月1日⇒27名、2日⇒20名の陽性者が確認されています。残念ながら、小中学生への感染拡大が現在も続いている状況です。

各学校におかれましては、日頃から児童生徒の感染防止対策の徹底を図るとともに、学習機会の保障について大変お気遣いいただいているところですが、現在の感染状況を踏まえ、卒業式の実施にあたっては、以下のとおりとします。

① 卒業式 及びその準備（練習）において、児童生徒が複数で大声を発するような場面を設定しない。

（式の中での合唱や呼びかけ等は実施しない）

② 卒業生で、卒業式当日に学級閉鎖の措置が必要となった場合は、卒業式を延期する。

（同クラスで複数名の陽性者が判明した場合）

○対応について

- ・ 式典の参加者は、卒業生とその保護者、学校関係者等の必要最小限とすること
- ・ 式典全体の時間を可能な限り短縮すること

これを受けて、市内全公立中学校では合唱や呼びかけ等が行われず、卒業式が挙行されました。この背景には、現在の市内保育園、幼稚園、小学校児童の爆発的な感染拡大の状況があります。

今回のオミクロン株は非常に感染力が強いため、感染症対策をしっかり取っていても、数日の間に一気に陽性者数が増加するなど、市内では学級閉鎖や臨時休校に追い込まれた小学校が少なくありません。

私としては、『卒業式を延期や中止にすることなく行いたい』というのが大前提にあります。保護者の皆様におかれましては、合唱や呼びかけ等のない卒業式を残念に思われていることと思いますが、これからの10日間、学級閉鎖や臨時休校をすることなく、子どもたちの晴れの卒業式当日を無事迎えたいと考えています。



がんばって随分前から練習してきた伴奏者や指揮者の子どもたち、卒業式で合唱や呼びかけをすることを楽しみにしていた子どもたち、卒業式という一生に一度の晴れの舞台を心待ちにしていた保護者の皆様の心情を思うと非常に残念でなりません。これまでと違った卒業式を迎えることとなり、教職員も非常に困惑し残念に思っています。制限がある中で桜台小学校として何ができるのか。子どもたちが「私たちの卒業式はいい卒業式だった」と少しでも思ってもらえるように、できる限りのことを考えていきたいと思っています。ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、このような状況から、5年生が卒業式当日に参加することはなくなりましたので、よろしくお願いいたします。5年生についてはビデオメッセージ等での参加を考えています。

卒業式における卒業生の服装について

卒業式の服装については、以前より市内において、羽織・袴などの着慣れない服を着用した際に、着崩れをしたり、トイレに行った後、自分で直せなかったりするといった問題がありました。また、早朝からの準備で体調を崩し、式の最中に不調を訴える等の健康面での問題も見受けられました。式当日、お子様が困惑したり、体調不良を訴えたりすることがないように配慮を願います。また、華やかな装飾やヘアメイク、化粧やネイル等を施すことは、差し控えていただくようお願いいたします。（文責 北住 昌文）